



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和4年9月13日
教育委員会事務局
歴史文化課

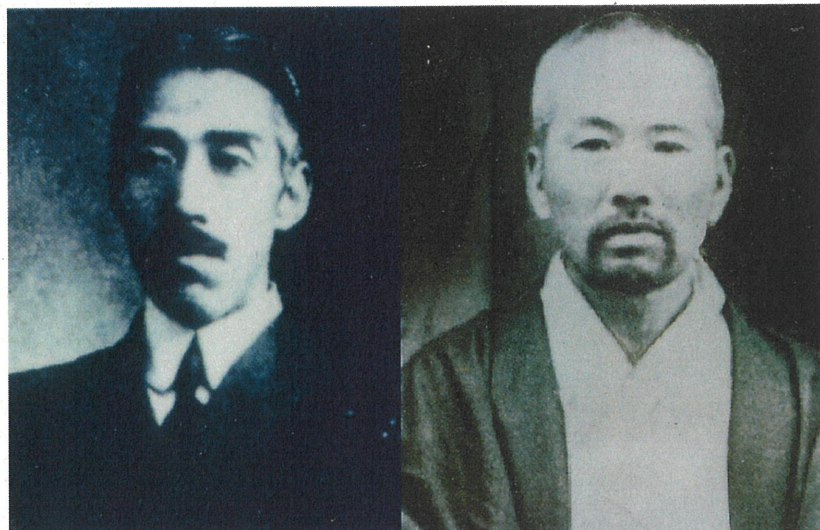
市政記者クラブ加盟社 各位

第66回 盛岡市先人記念館企画展 「南部鑄金研究所に集う人々」開催について

盛岡市先人記念館では、南部家43代当主南部利淳伯爵により開設された南部鑄金研究所について初代所長の松橋宗明、後継となった3代高橋萬治を中心に紹介します。この機会に是非ご覧ください。

記

- 【開催期間】 令和4年9月17日（土）～11月20日（日）
- 【開館時間】 9：00～17：00（入館は16：30まで）
- 【休館日】 毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）、毎月最終火曜日
- 【場所】 盛岡市先人記念館 2階総合展示室 企画展示コーナー
- 【入館料】 一般300円、高校生200円、小・中学生100円
盛岡市に住所を有する65歳以上の方は無料
- 【主催】 盛岡市先人記念館（所管：盛岡市教育委員会）
公益財団法人盛岡市文化振興事業団



「松橋宗明・高橋萬治」

画像は本展周知目的のみに使用してください。
画像データが必要な際は、お問い合わせください。
掲載にあたりクレジットとして所蔵先を明記してください。
掲載紙を一部、先人記念館保存用として寄贈してください。

【問い合わせ先】

盛岡市先人記念館

指定管理者：（公財）盛岡市文化振興事業団

担当：学芸員 河野 聡美

TEL：019-659-3338 FAX：019-659-3387

第66回盛岡市先人記念館企画展

南部鑄金 研究所 に 集う人々

ちゅう

きん

令和4年9月17日(土)
—
11月20日(日)



写真「大正天皇献上花瓶完成記念」(岩手県立美術館所蔵)

会場／盛岡市先人記念館
2階総合展示室企画展示コーナー

主催／盛岡市先人記念館(所管：盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

開館時間●午前9時～午後5時まで(ただし入館は午後4時30分)

休館日●毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、毎月最終火曜日

入館料●[個人]一般300円 高校生200円 小・中学生100円

[団体]一般240円 高校生160円 小・中学生80円

※団体料金は30名以上の団体に適用します。

※盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は入館無料。

盛岡市先人記念館

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2-2

TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387

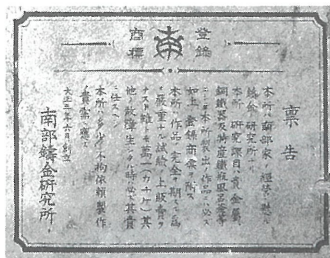
第66回盛岡市先人記念館企画展

南部鑄金研究所に集う人々

岩手・盛岡を代表する伝統工芸品、南部鉄器。江戸時代、盛岡には様々な文化がもたらされ、このうち茶道の興隆とともに地の利を活かして南部鉄器が製作され、盛岡藩の庇護のもと小泉家・鈴木家・有坂家・藤田家などの釜師、鋳物師がその技術を確立しました。明治という新たな時代を迎えて以降は、職人や関係者が各博覧会等での入賞、鉄瓶組合の創設、講習会の開催など南部鉄器の需要確保と技術向上に努めました。

大正三年（一九一四）、文化活動に関心の高かった南部家四十三代当主南部利淳伯爵により「南部鑄金研究所」が創設されます。初代所長には、東京美術学校（東京藝術大学美術学部の前身）を卒業後、鑄金界で活躍していた盛岡出身の松橋宗明が就任、三代高橋萬治、内藤春治などの人材育成と技術改良に大きく貢献しました。

本年は、松橋宗明の没後一〇〇年、三代高橋萬治の没後八〇年にあたりです。本展では、二人が関わった南部鑄金研究所と南部鉄器の発展に貢献した先人を中心に資料を通して紹介します。



南部鑄金研究所商標登録書
南部鑄金研究所の作品には商標を付すこと、受注も請け負うことが記されている。



3代高橋萬治「叢妙機庵釜」
大正11年（1922）、南部鑄金研究所の職工長を務めた高橋萬治作。



松橋宗明「一繋馬灰皿」
（もりおか歴史文化館提供・所蔵）
南部鑄金研究所時代の作品。松橋は蛸型と呼ばれる鑄造法を得意とした。

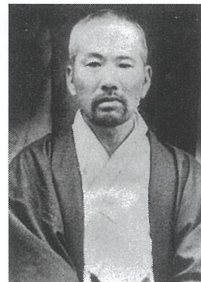


まつはしそめい
松橋宗明 (1871～1922)

盛岡生まれ。号・台山。明治22年（1889）、東京美術学校に入学。岡崎雪声、大島如雲らの指導のもと鑄金を学ぶ。同40年（1907）には岡崎、大島とともに「東京鑄金会」（日本鑄金家協会の前身）を設立するなど鑄金界で活躍。大正3年

（1914）、南部家により設立された「南部鑄金研究所」の所長となり郷里へ戻る。大正天皇の即位御大典の献上花瓶1対を南部鑄金研究所が請け負ったほか、松橋は盛岡の鉄瓶業者への指導にも携わった。

たかはしまんじ
高橋萬治 (1880～1942)



盛岡生まれ。本名萬次郎、3代萬治。大正3年（1914）に開設された「南部鑄金研究所」に入所、職工長を務めた。同9年（1920）に盛岡で開催された全国金工品共進会にて技術賞1等（金賞）を受賞。同11年（1922）に松橋宗明が亡くなる

と、「高橋鑄金研究所」として南部鑄金研究所を継承した。市内の日影門緑地に建つ明治天皇聖蹟記念塔の金鶏、高松の池畔の横川省三像（昭和19年供出）を鑄造。

関連イベント

○シリーズ講座「南部鉄器の意匠と工夫」

- 講師/阿部裕之氏
（岩手大学人文社会科学部人間文化課程教授）
- 日時/令和4年10月15日（土）午後1時30分～午後3時
- 会場/先人記念館地下ホール

申込 両講座とも令和4年10月1日（土）午前9時より盛岡市先人記念館にて電話受付。定員40人。



○学芸員講座「南部鑄金研究所について」

- 講師/河野聡美（盛岡市先人記念館学芸員）
- 日時/令和4年11月5日（土）
午後1時30分～午後2時30分
- 会場/先人記念館地下ホール

○展示資料の解説

- 日時/令和4年10月8日（土）、
11月13日（日）
いずれも午後1時30分～午後2時
- 会場/先人記念館地下ホール

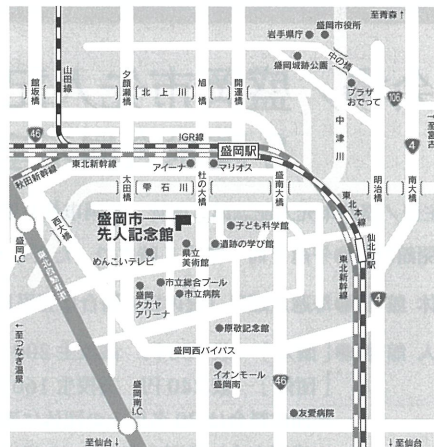
公益財団法人盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

- 石川啄木記念館
第17回企画展「教科書の中の啄木」/同時開催「石川啄木と萩原朔太郎」
9月27日（火）～令和5年1月22日（日）
- 盛岡てがみ館
第66回企画展「野村胡堂のてがみ」
10月18日（火）～令和5年2月13日（月）
- 原敬記念館
第64回企画展「原達-叔父・原敬に期待された才人-」
10月22日（土）～令和5年1月15日（日）

ご来館の際は、マスクの着用・手指の消毒など新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。感染症の拡大状況によっては中止や変更となる場合があります。

■交通アクセス

バス▶岩手県交通「盛南ループ200」県立美術館前下車 徒歩約5分/タクシー▶盛岡駅より約10分/徒歩▶盛岡駅西口（マリオス前）より約15分/自動車▶東北自動車道盛岡ICから車で約15分 盛岡南ICから車で約10分



盛岡市先人記念館

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団
主催：盛岡市先人記念館（所管：盛岡市教育委員会）・公益財団法人盛岡市文化振興事業団
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷 2-2 TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387

